

伝えよう、三計と半九の教え

そっけん

息軒だより

一日の計は朝（あした）にあり

一年の計は春にあり

一生の計は少壮の時にあり



令和元年度 15号 (8・9月号)

発行 宮崎市安井息軒記念館
管理 NPO 法人安井息軒顕彰会
理事長 齋藤義輝 館長 中村富英
〒889 - 1605

宮崎県宮崎市清武町加納甲 3378 - 1
TEL0985-84-0234 Fax0985-84-2634

e-mail:sokken.yasui@pic.bbq.jp

<http://yasuisokken.qcweb.jp/>

読み取ると、記念館 HP
がご覧になれます。

人とのつながりを感じた埼玉県川口市との文化交流事業

「安井息軒顕彰・川口市文化交流事業」と聞いて、どんな事業なの？と思われる方も多いのではないのでしょうか。

【この事業について】

平成 15 年から始まった事業で 17 回目を迎えます。そして、この記念館が「きよたけ歴史館」として開館したのが平成 14 年 9 月 23 日ですので、その翌年から始まっております。当時は清武町の事業として始まり、宮崎市との合併により平成 27 年から宮崎市教育委員会事業として続いています。本館は平成 29 年より「宮崎市安井息軒記念館」と改称しております。



【埼玉県川口市とのつながり】

安井息軒が戊辰戦争の戦火を避け、領家村（現埼玉県川口市）に約 9 か月間疎開したことが縁で清武町と川口市の小学生による交流が始まりました。この事業は宮崎市教育委員会の事業ですが、記念館としても、子どもたちの事前学習会や交流学習会で協力しております。



【記念館での活動の様子】

7 月 20 日、宮崎市使節団 20 名を対象に安井息軒についてやこれから見学するところ（飢肥、振徳堂など）とのつながりなどについて、事前学習会を実施しました。

7 月 24 日、川口市使節団 20 名と宮崎市使節団、引率の方々を交え交流学習会を実施しました。交流学習会では理事長、館長のあいさつの後、自己紹介、班長決めという流れで進みました。その後、記念館館長による安井息軒についての話、施設見学と進めましたが、ただ説明を聞き、見学するだけでは物足りないと思い、旧宅（現在工事中）、息軒廟、記念館内を与えられたミッション（全部で 10 のミッション）を解決しながら進んでいくという方法をとりました。最後は考えさせるミッション「展望室から宮崎市内をながめ、息軒先生になったつもりで俳句を一句詠む」というのにしました。記念館職員もどんな俳句を詠んでくれるか楽しみでした。



さすが、施設団員！個性あふれる俳句を詠んでくれました。全員の句を紹介したいのですが紙面の関係で二人の俳句を紹介します。（文責 中村）

空と雲
絵の具のように
混じり合う

宮崎や
領家をお心う
我が身かな

みんな、素晴らしい
句ができたな。



宮崎学園短期大学1年生(6/25~7/2)



安井息軒記念館講座(7/6)



宮崎大学サマープログラム(7/12)



～記念館は、ふれあいと生涯学習の場～

すべてのお客様とのふれあいは、私たち記念館職員の宝でもあり、元気の源になります。子どもからお年を召した方まで、すべてのお客様にとって「居心地のよい記念館」を目指して、日々頑張っております！

息軒団、大募集じゃ！

子どもたち！私に関するさまざまな活動を一緒にやってみないか？詳しいことは記念館にきいてみよう。



4月 都城市高崎町史友会

5月 宮崎市立東大宮小学校5年生

宮崎市立清武幼稚園

清武中央こども園

清武地域子育て支援センター

宮崎市清武小学校6年生

宮崎市立大久保小学校6年生

宮崎国際大学教育学部2年生

6月 宮崎県図書館部会

綾町赤十字奉仕団

宮崎学園短大保育科・ビジネス科1年生

7月 宮崎大学サマープログラム

安井息軒顕彰・川口市文化交流事業

(一社)宮崎県建築士会



団体の皆様、ご来館ありがとうございました。

安井息軒記念館講座



●9月7日(土) 10:00~11:45

●講師: 山元 宣宏 氏

(宮崎大学教育学部准教授)

●演題: 安井息軒とその時代の書

●会場: 安井息軒記念館 研修室

安井息軒記念講演会

●9月23日(月・祝)

10:30~12:00

●講師: 青山 大介 氏

(中国湖南大学 特聘副教授)

●演題: 安井息軒著『弁妄』と井上毅

●会場: 清武文化会館



※お申し込み・お問い合わせはお気軽に安井息軒記念館までご連絡ください。電話・ファックス・メールでも構いません。

今後のイベント案内

息軒ふるさとウォーク



●10月13日(日) ※雨天順延

●内容: 清武町内の飢肥街道を歩き
街道沿いの史跡を訪れます。

※詳細が決まりましたら、当館ホームページ等でお知らせいたします。

息軒探訪バスツアー



●11月2日(土)

●鹿児島に所在する、息軒関連史跡を
バスで探訪します。

●対象・定員: 一般 20人

●申し込み締め切り: 10月20日(日)

※応募多数の場合は抽選となります。

もっと知りたい！息軒嘸（ばなし）

志半ば伝馬町の牢に散った 悲運の志士 北有馬太郎

【その2】

2か月前、決死の覚悟で久留米城下を後にした貞太郎でしたが、事は成就し、城下に戻った4日後、石野陸三郎と木村三郎の二人と共に長崎に向かっています。日記には「内命をおびて」と記されていますので、情勢視察だったと思われます。この時、入港していたオランダ軍艦を目の当たりにし、驚愕とともに、天保学で体得した攘夷思想は、より強固なものになったかもしれません。ペリーが浦賀に来る9年前のことです。

初冬に入った弘化元年(1845)10月3日、藩主頼永より30人扶持を与えられた貞太郎は、それを糧に学問修行のため再び江戸へ行きます。年が明けて正月、生涯の師である安井息軒の三計塾に入門します。この背景には、久留米の真木和泉守(天王山で自刃)、藩儒佐田修平、藩主頼永の側近野崎平八など多くの久留米藩士が息軒と交流があり、三計塾に学ぶ者も多数いたことなどが考えられます。

入塾して2年余りで、貞太郎は帰省を余儀なくさせられます。実家が経済的困窮に陥り、父は貞太郎に帰省を求めます。貞太郎自身も頼永の死後、俸給も途絶え知人を頼っての寄食の日々でした。息軒は、貞太郎の退塾にあたり、「中村孟達を送る序」を書いて与えます。そこには、いかに息軒が、貞太郎の才能や行動力を認め、その人となりを愛し、貧しさゆえに志をなかなか成し得ないことを惜しみ、それでも屈せずに生きて志を成し遂げてほしいと、愛弟子に父親のような愛情をにじませています。多くの友人知人に各所で酒席を設けて送られ、最後に三計塾に別れを告げに行っています。塾規で禁止されているはずの酒を塾生たちと飲んだと日記にあるので、この日ばかりは息軒も大目に見て貞太郎との別れを惜しんだのでしょう。弘化3年(1847)11月9日早朝、師や塾生たちに見送られて貞太郎は三計塾を後にしました。(文責 長野)

curator Colum

夏秋ミニ企画展「坂本正直が描く在りし日の息軒」

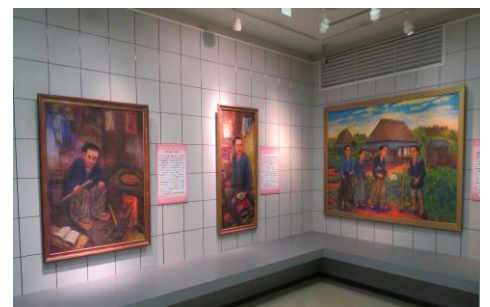
～真相に迫る鋭いまなざしと洞察。息軒への想いを絵筆に託した8枚～

学芸員 小山のつぶやき
コーナーです。

※curator(キュレーター)

「学芸員」の英訳

「安井息軒」を芸術分野で表現したら、どのようなのだろうか。
宮崎市生目出身の坂本正直氏(1914～2011)は、自身が体験した戦争をテーマにした作品を多く残しています。それだけではなく、土呂久鉦山、ハンセン病、貧困問題なども直視し、社会の不条理やその現実を描いた社会派でもありました。キャンバスに描かれたこれらの作品は、観る者を圧倒し、画伯の問題提起から決して目を背けてはならない思いに駆り立てられます。このような厳しいテーマとは対照的に、今回展示で紹介する作品はなんと清々しく、柔らかな画風なのでしょう！画伯は晩年、息軒に魅せられ、熱心にさまざまな資料を調べたそうです(画伯長女 所薫子氏の談)。学問を志す若き息軒、明教堂・振徳堂での教育者としての息軒、晩年の江戸在住時の息軒。息軒の生涯のひとコマに思いを馳せながら、今年は「芸術の夏」をお楽しみください。当館自慢の資料でもある画伯の作品を、この機会にぜひご覧ください。



【会期】

7月20日(土)～11月3日(日)

●入館無料

●企画展示室にて開催中

●安井息軒旧宅の清掃活動

6月2日(日)・7月20日(土)に安井息軒顕彰会会員による旧宅清掃を行いました。悪天候の中、除草を中心に行いましたが本当にさっぱりときれいになりました。環境整備を進めていき、お客様に快適な空間を提供できるようにしていきたいです。



●かるた大会in清武小学校

6月16日(日)、清武小PTAクラス対抗レクリエーションとして、「息軒かるた」を使ったかるた大会が行われました。遊びながら息軒先生のことを学ぶ一石二鳥の催しに、大人も子どもも熱が入っていました。後日、顕彰会会員が清武小学校の子どもたちに出前授業を行い、かるたの内容を詳しく教えました。



●安井息軒顕彰支援団体との意見交換会

6月26日(水)に自治会関係者や学識経験者を交えた意見交換会を実施しました。顕彰会・記念館の事業や、関係機関との連携について貴重なご意見をいただきました。館を利用するすべてのお客様に還元できるような事業のあり方を考えるいい機会となりました。



●きよたけ郷土まつり

7月13日(土)、顕彰会会員と清武小学校息軒研究クラブの子どもたち・教員が文教行列として参加予定でしたが、悪天候のため、大人だけの参加となりました。来年度は子どもたちも参加して、にぎやかに楽しく息軒先生をPRしたいと思います。



●夏休み子ども息軒塾、はじまりました。

夏休みに子どもたちに記念館を利用してもらい、息軒先生のことを楽しく学ぼうという目的で毎年実施しています。仲平豆の試食、息軒かるた、プラバンづくり、記念館周辺の散策、消しゴムで落款(はんこ)づくりなどを体験します。7/23、7/30、8/6、8/20の全4回。



●みやざき三計塾、盛況に終了。

安井息軒の著作である『論語集説』を丁寧に読み解く講座が7月28日(日)をもって全6回が終了しました。回が進むごとに内容が濃くなっていきましたが、山元先生の柔らかな解説のおかげで『論語』を身近に感じる事ができました。まだまだ続きを聴講したいという参加者の声もありました。



会員募集

NPO 法人 安井息軒顕彰会では令和元年度の会員を募集しております。

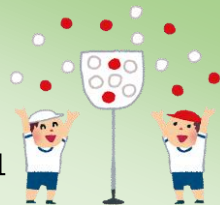
年会費

- 一般会員 2,000円
- 賛助会員 1,000円
- 学生会員 500円
- 団体会員 5,000円

各種お問い合わせ、会員の近況報告、情報提供などがございましたら事務局宛ご連絡ください。

NPO 法人 安井息軒顕彰会

連絡先 宮崎市安井息軒記念館
〒889-1605 宮崎市清武町加納甲 3378-1
FAX 0985-71-3005
携帯 080-8589-0569 (安井息軒顕彰会 黒木)



安井息軒記念館

管理：NPO 法人 安井息軒顕彰会
理事長 齋藤 義輝
事務局長 黒木 幸英

記念館職員

館長 中村 富英
学芸員 小山 幸子
職員 長野 智愛子
職員 日高 弘子